

『地域のあったらいいな!』をカタチにする

社協の生活支援コーディネーター



たとえば!

ひとりじゃなかなか…。みんなと運動できる機会があったらなあ

高所や重い物が…。近所でちょっとした助けがあったらなあ

免許証を返納。買い物を支援してくれる仕組みがあったらいいなあ

家の近くで気軽に集える場があったらいいなあ



生活支援コーディネーターは、地域の課題を把握し、支えあいづくりや居場所づくりなど“あったらいいな”を一緒に考えます。

- ①地域の困りごとをお聞きします
- ②その課題が解決できるように地域の活動や関係機関につなぎます
- ③新たな仕組みづくりを一緒に考えます



社会福祉法人宇部市社会福祉協議会

宇部市琴芝町二丁目4番20号（宇部市総合福祉会館内）

担当：地域福祉課 電話：0836-33-3134 FAX：0836-22-4392

メール：tiiki-ubepo@ubeshishakyo.or.jp

Q1「生活支援コーディネーター」は、どんな事するの？



A.暮らし慣れた場所で誰もが安心して暮らし続けられるように、地域の皆さまや関係機関等と一緒に課題解決に取り組んでいきます。
それぞれの地域に地区担当がいますのでお気軽にお声掛け下さい。

社会福祉法人宇部市社会福祉協議会
宇部市琴芝町二丁目4番20号(宇部市総合福祉会館内)
電話(0836)33-3134 FAX(0836)22-4392

Q2 具体的にどんなことに取り組むの？

A.福祉の悩みや想いをご相談いただけたら、他地域の先駆事例の紹介や支援制度をご紹介するなど、皆様の地域福祉活動を応援いたします！！

新たな仕組みも一緒に考えます。具体的には、以下の事例を市内で実施しています。



(1)ゴミ出しが難しくなった

地域内でゴミ出しや電球交換など、ちょっとした助け合い活動の取り組みを提案・応援しています。現在、市内に11団体の助け合い活動が立ち上がっています。

また、地域で何かしたい、困ったという声があれば、この団体に紹介したりしています。



(2)地域で集まれる活動・健康づくりをしたい

『ご近所ふれあいサロン』活動を提案しています。

本会ではボッチャなどの貸出用具や演芸などボランティアを紹介、また活動費の助成を実施しています。

詳しくは生活支援コーディネーターまでご相談ください。

